

一年間の活動を終えて ～地区委員の声～

■豊ヶ丘地区委員会

◆2年間続けて青少協委員長を務めさせていただきました。青少協の活動にご協力頂きました全ての方々にこの場を借りて感謝申し上げます。地域清掃が2年続けて雨で中止になった事だけ、非常に残念に思います ◆1年間青少協に参加させて頂き、普段出来ない地域の方々との関わりも多く、よい経験となりました。関係の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました ◆青少協での活動を通じて、役員の方や地域の方の協力によって多くの行事が成り立っていることを改めて感じました。地域の事を知ることができたり、色々な方と繋がることができ温かい地域づくりの活動に参加できて良かったです ◆初めて青少協の役員になりました。行事が多いので大変だと思っておりましたが、地域の方々やボランティアの子供たちと協力してできたので楽しく充実した1年間を過ごすことができました。ありがとうございました ◆初めての役員でしたが、1年を通じて色々な行事に参加させて頂き、貴重な体験になりました。ありがとうございました ◆私が担当したニューススポーツ大会は雨にも関わらず多数の方々に来て頂き、保護者の方々のご協力もあり無事に楽しく終わることができました。私は2年間青少協をしました。沢山の方と関わって楽しかったです ◆どんど焼きの担当だったのですが、あちらこちらから「今年のは美味しかったよ」との言葉を頂き、自分の事のように嬉しく思いました。役員のみならず、1年間ありがとうございました ◆多くの方々が様々な立場で地域の交流や課題改善のために活動して下さっていることがわかりました。微力ですが活動に携われ、また多くの出会いがあり貴重な経験となりました。どうもありがとうございました ◆青少協の活動に参加したことで、たくさんの方々がご協力下さっていることがわかりました。たくさんの方々のイベントに参加して、子供たちと一緒に楽しい時間を過ごせた事が何よりも楽しかったです ◆初めての活動でしたが頼れる委員長や皆さんと一緒に楽しくあっという間の1年間でした。どんど焼きの豚汁作りは中学生ボランティアさん達のおかげでとても美味しくできました。ありがとうございました ◆どんど焼きに初めて委員として参加させて頂き、受付を担当しました。思っていたより多くの地域の方がお飾りを持ってきて下さって、温かい言葉もかけていただきました ◆どの活動も楽しく、様々な行事を通じ貝取・豊ヶ丘地区の「地域力」を発見できるよい機会でした！ ◆多摩市は高齢化社会が進展しており地域住民による効果的かつ効率的な支援が必要とされています。青少協の「青少年の健全な育成」と一体的に活動することができ、両者が住み慣れた場所で居場所を感じ幸せに暮らせるといいですねと参加した活動を通じて感じました ◆初めての青少協委員をやらせて頂き、改めて子供たちが地域の方々に見守られていることを実感しました。良い経験ありがとうございました ◆青少協の活動は意外にも楽しいものでした。ご協力頂いた地域の皆様、先生方、役員の方々に感謝です

■貝取地区委員会

◆今年初めて青少協委員になり大変だという話だけは聞いていましたが確かに行事が多く大変でした。その中で得たものは貝取地区の子どもたちは、小さい頃から多くの大人に支えられて見守ってもらっていることです。隣近所との付き合いが希薄になっている今でも、こんな風に大人も子供も一緒に集まって、わいわい、がやがや活動したり温かいものを食べられる幸せを感じました。ありがとうございました ◆青少協の様々なイベントを通じて地域の方々とのつながりの大切さをあらためて感じる事ができました。会長さんをはじめ、役員の皆様と協力しながら一年間楽しく活動することができました。ありがとうございました ◆校内で活動する役員と違い、地域の皆様と楽しむ活動が多いので、地域の情報交換も楽しみのひとつでした。会長をはじめ、心強い委員の皆様と穏やかな雰囲気の中で活動できたことに感謝申し上げます ◆青少協には二年間籍をおかせていただきました。会長はじめ周りの役員さんのおかげでここまで活動することができました。大変なことも多いですが楽しいこともたくさんあり、よい経験になりました。貝取地区がいい街になるようにこれからも出来ることあれば参加、協力していきたいと思ひます。ありがとうございました ◆行事や夜間の集まりが多く大変ではありましたが、様々なイベントを通じて地域の方々との関わりを持つことができました。わが子が地域の皆さんに支えられて育っていることを感じました。役員のみならずと一緒に活動でき楽しかったです。一年間ありがとうございました ◆1年間青少協の活動に参加させて頂き初めての事で他の役員の方に助けをもらいながら何とかやってきました。大変な事も多かったですが子供達の色々な姿が見れて本当に楽しかったです。1年間本当にありがとうございました

No.6 貝取・豊ヶ丘青少協地区委員会だより

バルコニー橋

2018年3月10日

発行責任者
豊ヶ丘地区委員会会長 武内喜則
豊ヶ丘 2-6-5-502 TEL: 042-376-9126
Email: ssk-toyogaoka@mist.dti.ne.jp
URL: http://www.venus.dti.ne.jp/
~basara/EX/ssk/
貝取地区委員会会長 斎藤幸枝



第7回貝取・豊ヶ丘交流ニューススポーツ大会(豊ヶ丘・貝取共催)

2017年10月15日(日)はあいにくの雨。校庭が使えず青陵中体育館での開催でしたが、186人の方に参加いただきました。グラウンドゴルフができず、個人競技は、ソフトグライダー、輪投げ、ストラックアウトの3種目だけとなりましたが、体育館は熱気に包まれ、楽しい時間を過ごすことができました。今年も、豊ヶ丘小や貝取小の児童ボランティアスタッフ、青陵中学生ボランティアスタッフが、たくさん運営に活躍しました。



ウォークラリー・歩こう会(貝取委員会主催)

11月3日 久しぶりの晴天に、参加も146人と大人数で、秋の一日を楽しんでいました。



第31回どんど焼き(豊ヶ丘委員会主催)

2018年1月13日(土)、冬晴れの空の下 豊ヶ丘小学校校庭でどんど焼きを開催しました。地域の方々、子どもたち、約500人がどんどの火で炙ったお餅をたべて、一年の健康を祈りました。身体が温まる豚汁、お汁粉、甘酒にも長い列ができました。今年も、豊ヶ丘小学校おやじの会のご協力の下、豊小の子どもたちが、子どもやぐらづくりにチャレンジしました。子どもやぐらには、子どもたちの願いを書いた短冊が巻かれ、子どもたちの願いがどんどの煙とともに天に届けられました。今年も80人以上の地域・保護者の方々、46人の豊小子どもボランティア、24人の青陵中の中学生ボランティアの協力をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。



12月10日子ども・大人の工作の日(貝取委員会主催)

午前中: 多摩そば作り、午後: ミニクリスマスツリーとハット飾り、そしてどんぐりのやじろべえ作りで70人参加。家族で参加されたお父さんのカブが上がったかも。

貝取小の緑化活動

貝取小学校 副校長 佐藤 美徳

本校は昨年度まで「特色のある教育活動」として「環境・栽培」と「愛鳥活動」の2本の柱を掲げていましたが、活動の成果が見えづらく、保護者・地域の方々への認知度も今ひとつ上がらないという課題を抱えてきました。

そこで本年度より「環境・栽培」へと活動の焦点化を図ることとした上で、学区に隣接する恵泉女学園大学の澤登早苗教授による協力も依頼いたしました。

7月に、第2回「社会福祉ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」にて、澤登先生のご講演「園芸とコミュニティ」を拝聴させていただいた際、地域と共働した学校の緑化・栽培活動の活性化に関する貝取小の現状とニーズについての情報を発信させていただきました。

これがきっかけとなり、社会福祉協議会の方々のご協力のもと、9月には本校を会場として第3回「社会福祉ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」が開催され、地域との連携に立った緑化・栽培活動の可能性や課題について、大勢の皆さんと共に協議するという好機に恵まれました。これは開校以来初めてのことでした。

ここから学校・PTA・地域・社会福祉協議会による「貝取小学校緑化会議」の組織が立ち上がり、とうとう11月4日（土）の「第1回貝取小グリーンデー」の実現へとこぎ着けました。

当日は、地域の方々をはじめ、約50名もの参加者を得て、正門前の空きスペースを花壇として整備したり、南門の外の通学路の草刈りを行ったりする中で、地域の力が結集することの計り知れないパワーを実感させられました。また、この様子は、多摩版「タウンニュース」でも取り上げていただきました。今後も2月10日（土）に、第2回目となるグリーンデーを予定しています。

貝取小学校が今後も「地域に開かれた地域の学校」として愛されるよう、この緑化・栽培活動をしっかりと根付かせ、永く継続されていくよう尽力して参ります。

《お願い》…「球根とレンガが学校を救う」

貝取小学校では、今後の緑化・栽培活動にあたり、ご家庭や地域で余っているチューリップの球根とレンガの提供を広くお願いしているところがございます。たとえ1つでもかまいません。お譲りいただける場合には、副校長宛にご一報下さい。お待ちしております。

（貝取小学校 Tel 042-376-0234 HP : <http://schit.net/tama/eskaidori>）

STP＝商店街をちょっと楽しく元気にするプロジェクト

青陵中学校 第1学年主任 湯澤 悠祐

今年度、青陵中学校1学年の校外学習では、「STP」＝「商店街をちょっと楽しく元気にするプロジェクト」と題し、地元の豊ヶ丘・貝取商店会にご協力いただき、商店街の活性化を考え、行動に移す実践型の学習にチャレンジしました。まず、地域の方を学校に招き、商店街の現状や各地で行われている活性化の取り組みについて話を聞きました。そして、各クラスが「商店街で自分たちは何ができるのか」を真剣に考え、話し合いました。その結果、物々交換フリーマーケット＆古本市、商店会をまわるスタンプラリー、多摩の特産品があたる抽選会、ベンチや花壇を塗ったり、装飾をしたりして商店街をきれいにするアートプロジェクト、昔と今の商店街を比較した古今写真展などを行うことになりました。

11月10日の「アクションデー」に向けて、各クラスが班ごとに分かれて準備を行いました。例えば、特産品・景品班は、抽選会で使う景品を集めるために、多摩市内の特産品を調べ、お店に電話をかけて交渉しました。また、アートプロジ

ェクトを行うクラスでは、ベンチや花壇を塗るためのペンキをかうために、募金の呼びかけをしたり、事前に商店街を訪れて掃除をしたりしました。広報班では児童館や公民館、保育園などに出向き、ポスターを貼らせてもらいました。それぞれが自分の役割をもち、責任をもって取り組む姿が見られました。

11月10日当日は、チラシやポスターなどを見て200人以上の方々が訪れ、豊ヶ丘・貝取商店会は賑わいました。抽選会では交渉して集めた特産品はもちろん、自分たちで作った手作りクッキーやアクリルたわしなどの景品も好評でした。アートプロジェクトでは、地元の塗装屋さんの協力もあり、ベンチや花壇は美しく生まれ変わりました。地域の方々に「ありがとう」「がんばってね」と声をかけてもらいながら、生徒たちは地元の商店街で様々なことを学ぶことができた1日でした。

生徒たちからは「1日だったけど、商店街にいつもより人が来て、良い雰囲気になってよかった」「集まってくれた方々が皆、笑顔で楽しんでくれた」といった感想が多く、達成感を感じることができ、素晴らしいプロジェクトになりました。



豊小 おやじの会

豊ヶ丘小学校おやじの会 村野 慎一

みなさま、こんにちは。豊ヶ丘小学校おやじの会です。

豊小おやじの会は、普段お子さんと過ごす時間が少ないお父さん方が、お子さんの学校生活に少しでも多く触れ、学校生活の理解を深めていこう。そんな気持ちから学校でのお仕事をお手伝いすることを活動テーマとして、29年1月のどんと焼きの頃に発足しました。

活動から1年を経て、学校行事（運動会など）、学校作業（エアコン・扇風機の清掃など）、ボランティア活動への参加（学校林整備など）、地域活動（どんと焼きなど）を行ってきました。

また、秋にはおやじの会主催でマヨネーズ教室の開催を行い、子どもたちと過ごす時間をつくってみました。

発足1年目の活動で手さぐりしながらの立ち上がりでしたが、豊小校長先生、副校長先生、PTAの方々にご協力を頂き活動してきました。

30年度は1年目の経験や豊小職員の方々、PTA・ボランティアの方々また他校おやじの会との連携を行い、子どもたちの学校生活をより良くし、子どもへの理解を深められる活動を行いたいと思います。

今後とも、豊小児童のお父さん方への参加呼びかけ、活動を続けていきたいと考えております。